

判定用紙

日付: 2006. 3. 5

準決勝 / 決勝

試合会場: _____

肯定側: 4条 UT

否定側: MAX

判定理由・コメント

① 対話
肯定側の

・ BMDをやること
・ Asiaの国と協力、対話をやること
の2つのActionを前提にしており、必ず条件、場合条件の議論はありませ
ない。このround 172 否定側の指摘も最後に行っていて議論を組んでいること
から、対話については肯定側の立証責任とし、証明はなしてしま
→ No solving

② 9条の危険

・ 十分に危険がある以上、やめようという情報は残っているが、そのimpactが
ないという否定側の指摘も生じている。実質的なメリットはなく、思想以上の
「べき論」にしてもその価値感の提示が不十分です。

EWL, 9条のARを22条のriskについては説明がなされていないからと人
はいる。

③ BMDへの日本の参加がある場合、米国のBMDがなされるという明確な証明はありせんが、
予算の1/2を日本が肩代わりしていること、日本の技術が重要で他国には困難とされてい
ること、他国がカバーできず不明で、実際に2005年11月日本以外表明していること
(Newer) あり、日本の参加がなされるのは難しくなるともいえること(7)という指摘は
reasonableと考へる。①のF02とF04、という主張は乱雑か。

④ 以上の情報は perception によるもので、riskが少く、これは大抵

以上 DA > AP ≈ 0

このディベートにおける勝者は:

Neg MAX

審査員署名: _____

判定用紙

日付: 3/5 準決勝 / 決勝 試合会場: 401
肯定側: 千代田 UT (C) 否定側: ゼロワン MAX

判定理由・コメント

AD

- ① ~~千代田 UT~~ BMD が軍事上の不安定要因として、それをやめようとしてイコール核廃絶の ~~minia~~ 意義に乏しいか、は、きりしな。否の立論もあるように、米国への説得にあたりか不明確
→ 解決できず
- ② 憲法は抵触の可能性の重大性は、きりしな。
→ 重大性ナシ

307

DA

日本のみが SM3 に賛同しているか (他国はその他の防衛協力をしている) にかかわらず、米国内の推進のための説得は、^{外交} 外交は、ウリにしよう (このラウンドでは外交は BMD に基づくと存していること^{に同意}) による先制攻撃の危険高下 成立

宇宙

いわゆる日本の BMD での損失対応は、きりしな
の ナシ ~~ナシ~~ 発生 ナシ

307 に一票

否定

このディベートにおける勝者は: _____

審査員署名: _____

判定用紙

日付: _____ 準決勝 / 決勝 試合会場: 401

肯定側: 4葉 UT 否定側: ゼロワンマックス

判定理由・コメント

1. MDIに対する周辺諸国の反応はゆるみ、対話的な路線は比較的取りやすくなるのかもしれないが、その可能性の大きさは否定側の指す通り証明が不足していると思う
2. 憲法の問題や被ばく国としての投割については、インパクトの説明が不十分で大きくは評価できない
3. ティーフインパクトに関してはMDIの有交可能性がどれだけのものかの説明は不十分であったが、インパクトは大きいので、まったく無視することはできないと考えた
4. アラビアンタイトX7に関しては、取り得る選択肢肢の1つを失う可能性が十分考えられ、インパクトも大きいと思われた。

主として1と4を比較した場合、より関連性が強く、適切であり、インパクトも大きい4を重視すべきと考え、Neg.に投票する

Neg.

このディベートにおける勝者は: ゼロワンマックス

審査員署名: _____

判定用紙

日付: 2006/3/5

準決勝 /

決勝

試合会場: e-401

肯定側: 千葉・UT

否定側: ゼロワンMAXイベントクラブ

判定理由・コメント

肯定側の解決性における証明の欠落と否定側のデメリット発掘過程に関する証明の欠落は、レベルが同じ程度だと思われ、~~1AR~~ 1AR 25 程が親いられた上、評価は出来ません。

また否定側の主張としてどのような影響が出たとしても、どこから BMD の完成が促進されるかわからず、また、~~そこ~~ ^{そこ} どのくらいの重要性があるかわかりませんでした。一方、肯定側の主張していた、唯一の被曝国として、~~そこ~~ BMD 放棄により、国際社会へ平和憲法を押し進めたいという方針に日本政府として重要性があると思いました。

このディベートにおける勝者は: 肯定側

審査員署名: _____

判定用紙

日付: _____ 準決勝 / **決勝** 試合会場: _____

肯定側: 4巻 LT 否定側: セコ? MAX

判定理由・コメント

AD
アインシュタイン(しも) 日本政府が ~~非(77726), 5227E 7743~~
対話政策に取れた証明がある以上、
ほとんどのメリットを享受せず、
デメリットが増える。建設的議論を促すという程のメリットが得られた。

DA
- 日本の参加の有無は、財政的・世界的に多大な影響がある。
- deep impactの利益は小さい(タウが太すぎず)
行方不明政策は上から、中から下まで国際競争力を減らす可能性がある。
よってインパクト、確率から DAの方が高いので Neg に投票。

セコ

このディベートにおける勝者は: セコ? Max

審査員署名: _____

5/24/11

個人紙